

市町村立図書館等活動支援誌



あけぼのぶんくん

No.44

2013年3月13日発行

主な内容

- 市町村活動支援事業から
- 道内図書館(室)トピックス
- お役立ち情報
- 「移動図書館車」追加情報

北海道立図書館

〔目 次〕

| | |
|---|----|
| ■ 市町村活動支援事業から | 2 |
| * 礼文町 【運営相談】 | |
| * 芽室町 【運営相談】 | |
| * 浦幌町 【図書館フェスティバル】 | |
| * 今金町 【図書館フェスティバル】 | |
| * 真狩村 【子ども読書相談】 | |
| * 比布町 【学校ブックフェスティバル】 | |
| ■ 道内図書館（室）トピックス | 7 |
| (1) オーダーメイドの1日図書館「ブックカフェ」（岩見沢市） | |
| (2) “読書の条例”制定（恵庭市） | |
| (3) 図書館で古文書相談（石狩市） | |
| (4) しかべっ子図書無償支給事業（鹿部町） | |
| (5) ザ・ビートルズ特集（浜頓別町） | |
| (6) 地域資料は“箱資料”で（網走市） | |
| (7) 新図書館建設に向けて（斜里町） | |
| (8) 毎月絵本をお届けします！（湧別町） | |
| (9) しみずっ子が選ぶこれがおすすめ！（清水町） | |
| (10) 図書館忍者認定！（豊頃町） | |
| (11) インターネット予約サービス実施（弟子屈町） | |
| 【道立図書館からのお知らせ】 Twitter 始めました。 | |
| ■ お役立ち情報 | 12 |
| (1) 「朝読・家読運動」イメージキャラクター「ぶっくん」があなたのまちに行きます | |
| (2) 「Webcat」から「CiNii Books」へ | |
| (3) 司書・司書補になるには・・・ | |
| ■ 「移動図書館車」追加情報！ | 13 |
| * 帯広市 | |
| * 土別市 | |

■市町村活動支援事業から

今年度の市町村活動支援事業から、6町村で行った事業を紹介します。

【運営相談】

* 礼文町 平成24年12月21日（金）実施

Book 愛ランドれぶんは、町営の書店と図書室の複合施設で、同じカウンターで書店の本の販売と、図書室の資料の貸出しをしています。

今年度、図書室担当として新しい臨時職員が配置されたこともあり、カウンター業務全般に関する運営相談を行いました。

前半は、「カウンターの仕事」と題して、待遇や、図書館業務全般について話しました。新しい職員の方は、サービス業の勤務経験はあったとのことですが、図書館業務について理解が深まり、待遇についても再確認できたと感想を述べていました。

後半は、資料の整理や排架について話をしました。図書室の資料は、背ラベルに通し番号が入っているのみで分類番号が入っていないため、2～3桁程度の分類番号を入れた背ラベルに順次変えていくことを助言しました。また、棚に見出しを入れて分類を見やすくすることや、除架を進めて棚に余裕を持たせ、表紙の面出しをすることなどを助言しました。



カウンター



入口すぐの書店部分



図書室の児童コーナー



図書室の閲覧スペース

*** 芽室町** 平成24年12月20日(火)・21日(水)実施

「平成24年度第2回芽室町図書館協議会委員研修」での講師をメインに、職員研修も行いました。

図書館協議会委員研修は20日夕方、協議会の会議後に行われました。「図書館は情報の交差点—その期待される役割」と題し、図書館法第3条を読むだけでも、図書館の任務と事業展開の多様性がよくわかるということを、先進事例を交えながら説明しました。

図書館協議会委員のほか、教育委員長や教育委員、社会教育委員、小学校のPTA会長など、子どもの読書活動に関わる方々が幅広く参加され、研修機会を共有しようという図書館の前向きな姿勢が伝わってきました。



芽室町図書館では、専任である係長と主任の異動がありましたが、新任研等を受講することができず、手探りで業務をする不安がありました。また、臨時図書館司書の皆さんの研修の機会が不足していることもあり、併せて職員研修を実施することになりました。

利用しやすい排架やディスプレイなどについて解説したほか、著作権の扱いなどについて質疑応答する中で、図書館サービス全般についての理解を改めて確認していただくことができました。

毎年度開催している全道図書館新任職員研修や同じく中堅職員研修は、外部講師なども招聘して経験年数に応じたプログラムを提供しています。各図書館では、カウンターのシフトや行事でやりくりが大変だと思いますが、できれば、これらの集合形態の研修会を積極的に活用していただきたいと思います。しかし、諸般の事情でどうしても研修に参加できない場合は、このような運営相談、もしくは、その都度の電話等での相談に対応し、各図書館の皆さんが少しでも不安をなくして図書館業務に当たることができるよう支援しますので、まずは御相談をいただきたいと思います。

【図書館フェスティバル】

*** 浦幌町** 図書館フェスティバル 平成24年6月16日(土)実施

平成24年度浦幌町教育の日ブックフェスティバルの一つとして実施された展示「いきものわくわくランド」に協力しました。

「いきものわくわくランド」は、動物の絵本を集めた「絵本のどうぶつえん」、虫の絵本を集めた「こんちゅう館」、水辺の生き物の絵本を集めた「水族館」の3箇所に分かれ、それぞれ、キャプションや飾り付けを工夫して展示しました。

館内では、この他にも「浦幌町ゆかりの作家コーナー」や「話題の本コーナー」などの展示を実施していました。



絵本のどうぶつえん



こんちゅう館



水族館

この日、図書館が入っている浦幌町教育文化センターでは、様々なイベントが行われました。

オープニングセレモニーでは朝読・家読運動の町独自のキャラクターや小学生の実践研究が発表されました。ほかに、図書館でおはなし会や木の葉を使った葉づくりが行われたり、屋外では昔ながらの手法をつかったせんべい焼きやジャンボシャボン玉づくり体験など、楽しい催し物が行われました。

イベントは一日開催でしたが、展示は7月13日（金）まで実施され、多くの方が訪れたとのこと。



木の葉を使った葉作り



昔ながらのせんべい焼き



ジャンボシャボン玉づくり

* 今金町 いまかね図書まつり 平成24年11月11日(日)実施
今年で9回目を迎えた「いまかね図書まつり」。盛りだくさんな内容を紹介しますと…

(1) 発表の部屋

大ホールで、朗読や読み聞かせ、紙芝居などのステージが行われました。

- ・発表「本のほかの楽しみ方」(マイケル・ウィドナー)
- ・朗読「金子みすず 詩」&竹がえし披露(今金町学童保育所)
- ・大型絵本読み聞かせ「ともだちや」(今金町商工会女性部)
- ・幻灯紙芝居「セロ弾きのゴーシュ」(童話サークルぴいたあ★ぱん)
- ・発表「今金中学校図書委員会活動」(今金中学校図書委員会)
- ・影絵「しらゆきひめ」(めぐみ座)
- ・読み聞かせ&クイズ「てじな」(函館絵本の会銀のふね)
- ・大型ペープサート「魔女のくつ」(マザーズポケット)
- ・群読「うそつき」他(美利河小学校児童)
- ・「My favorite books and stories」(今金町校長会)



影絵「しらゆきひめ」

座長は図書室の司書船木さん。「鏡」の声を担当しました。



群読する児童たち

(2) 講演会「写真を撮る・ことばを紡ぐ ～写真絵本に込めた思い～」(写真家・小寺卓矢氏) & パネルディスカッション「読書と作文のまち いまかね」(中島教育長、小寺氏、今金小学校山寺教諭、同PTA 早坂研修部長、檜山教育局社会教育指導班長岡主査、藤女子大学文学部3年大場さん)

写真絵本『森のいのち』の作者として有名な小寺氏の、幻想的な写真と朗読のコラボレーションのあとに、中島教育長自らがコーディネーターとなつてのパネルディスカッションが行われました。町全体で読書と作文に取り組む姿勢について、活発な意見が飛び交いました。



(3) おもちゃの部屋

小樽から木のおもちゃの「キンダーリース号」がやってきました。

(4) 展示スペース

- ・読書と作文のまち いまかね～子どもたちの作品他
- ・震災と防災の展示(道立図書館協力)
- ・布絵本の展示
- ・今金町を訪れた絵本作家達
- ・今金中学校「読書の木」
- ・いまかね絵本「だいすき! だんしゃくん」4コマ漫画展



「自分物語」、「帯作り」

(5) 昔のいまかね映写会

(6) 小寺卓矢氏写真展

- (7) 手作り絵本体験
- (8) ブックリサイクル
- (9) 移動図書館車「ブックン」

古雑誌から自分の好きな写真などを切り抜き好みの絵本に仕上げる、手軽な絵本作り



どの催しも、発表者が生き生きとしていたのがとても印象的で、町の大人も子どもも、自分の好きなことを「表現する手立て」を心得ているようでした。

「読書と作文のまち いまかね」が、これからどのように展開していくのか注目です。

【子ども読書相談】

* 真狩村公民館図書室 平成25年1月11日（金）実施

「真狩村子どもたちの読書活動推進委員会」が主催する「読書ボランティア研修会（本のプレゼン講習会）」に講師として出席しました。

前半1時間は、「子どもたちが自主的に読書活動を行うために」と題して、図書室の環境改善のポイント、広報活動の事例紹介、求められた資料を確実に提供するための留意事項等を中心に講義しました。



後半は、講義として、図書館サービスにおける接遇のポイントとプレゼンテーションを行うための心得や技術に関し、具体的にお話しました。

最後は、真狩村教育委員会の進行で参加者全員がプレゼンテーションの演習に取り組みました。

プレゼンテーションの演習の様子

教育委員会職員、図書室担当者、教員、ボランティアの方々など15名もの参加があり、和気あいあいの雰囲気の中、多くの技術を学びました。

【学校ブックフェスティバル】

* 比布町 比布町立中央小学校 平成24年12月21日（金）実施

比布町は人口約4,000人、旭川市の北に位置する農業の町です。町の小学校は1校しかありませんが、170人の子どもたちが元気いっぱいに迎えてくれました。

事業を担当した先生に話を聞くと「子どもたちにとって、2,000冊の児童書を一齐に目にするのは初めて。ずいぶん前から、この催しを楽しみにしていました」とのこと。準備をしている時にも、体育館の扉から低学年の子どもたちがのぞき込んでいて、子どもたちの期待と好奇心を一心に受けての学校ブックフェスティバルとなりました。



ボランティアサークル「ひろがり文庫」による大型絵本の読み聞かせ

この事業は、体育館などの広い場所にたくさんの絵本・児童書を並べ、子どもたちがそれを自由に手に取り、気に入った本を借りるという催しです。通常、図書室などでは書架に並んだ本の背表紙を見て読みたい本を選びます。けれども、学校ブックフェスティバルでは、表紙を見せた本が床一面に並べられます。比布町でも体育館いっぱい並べられた中から、子どもたちが思い思いに選んだ本を両手いっぱいに抱え、貸出窓口に向かう姿が見られました。今回の実施では、先生が「冬休み中に読む本を借りましょう」と指導して下さったせいか、慎重に本を選ぶ子が目立ち、表紙と目次、本に貼ってある「帯」を何度も見比べてから貸出窓口に足を運ぶ子が多かったようです。この日、子どもたちが借りてくれた冊数は515冊でした。

高学年の子どもたちが後片付けを手伝ってくれ、校長先生はじめ、中央小学校の先生と多くの子どもたちに見送られ、さわやかな気持ちで終了した学校ブックフェスティバルでした。

学校ブックフェスティバルは、「図書館（教育委員会）」「学校」「地域（ボランティア）」の三者が協働して実施します。比布町立中央小学校では、図書ボランティア「ひろがり文庫」のみなさんがオープニングの大型絵本読み聞かせ、全体の進行と貸出作業を比布町図書館の職員、ブックフェスティバルに臨む児童への指導を中央小学校の先生というように、分担、協力して取り組みました。

この事業が、子ども読書の普及だけでなく、子どもたちを取りまく地域の教育環境向上の一助となれば幸いです。



子どもたちで賑わう貸出窓口。貸出担当は比布町教育委員会職員の皆さん

■道内図書館（室）トピックス

(1) オーダーメイドの1日図書館「ブックカフェ」(岩見沢市)

岩見沢市立図書館では、市民サークルなどの希望する場所に、希望のテーマの本を図書館スタッフが選んで持って行き、そこでおしゃべりをしたりお茶を飲んだりしながら、本を楽しんでもらう「ブックカフェ」を開催しています。

平成23年8月から始めたこのサービスは、読み聞かせやブックトークなどもオプションで実施しています。本はその場で読んでも借りて帰ってもよく、初めて利用する方には、図書館カードも作っています。気楽に本と触れ合えることから、読書の魅力を伝え、図書館を利用してもらうきっかけにもなっています。



東保育園にて開催(申込団体:バンビ・サークル)

(2) “読書の条例”制定（恵庭市）

図書館での先進的な取り組みやボランティアの皆さんを中心に地域ぐるみで読書のまちづくりを推進してきた恵庭市ですが、これまで積み重ねてきた活動を次の世代に引き継ぎ、これからの読書活動の道しるべとなる「恵庭市人とまちを育む読書条例」が、平成25年4月1日施行の運びとなりました。道内では初の条例です。

こちらから全文がご覧いただけます。

<http://www.city.eniwa.hokkaido.jp/www/contents/1356430844885/index.html>

(3) 図書館で古文書相談（石狩市）

石狩市民図書館では、新たなサービスとして「古文書相談」を今年1月29日にスタートしました。

このサービスは、「自宅にある古文書がどんな内容なのか分からない」「（掛け軸など）記されている事柄が判読できない」などの質問に対し図書館資料により調査・回答するもので、古文書の価値や金額等を鑑定するものではありません。

公立図書館では全国的に見ても事例がなく、レファレンスサービスの新たな展開として注目度大です。

(4) しかべっ子図書無償支給事業（鹿部町）

鹿部町では平成22年度から5カ年計画で、幼稚園児・小学生・中学生に1人1冊、読みたい本をプレゼントする標記事業を実施しています。

この事業に係り、昨年度は、小中学生に対して「もらった本の紹介文」を募集し、寄せられた58人のメッセージを『小・中学生による「ぼく・わたしは この本をもらいました」(しかべっ子図書だより特別版)』としてまとめました。



中学生の選定の様子

また、今年度は小学校の高学年のクラスで、もらった本の感想を学級通信で取り上げ交流することが進められました。子どもたちの読書習慣づくりに一役買っています。

(5) ザ・ビートルズ特集（浜頓別町）

昨年はビートルズのレコードデビュー50周年。このタイミングに平成24年11月27日～12月25日の期間、浜頓別町立図書館ではビートルズの関連本を集めた特集展示を開催しました。この展示は、道立図書館の蔵書45冊を借受けて行ったもので、『ビートルズ大全』『ビートルズ百科全書』などの事典類や詩集、楽譜集、メンバーの自伝など、多彩に並べられ、普段図書館には来られない音楽好きの方や、当時を懐かしむ年齢層へのPRとしても効果的でした。

浜頓別町立図書館では、年間通じて道立図書館の蔵書を活用しながら企画展示を行っています。皆さんのまちでも道立図書館の蔵書を使った企画展示をしませんか？

いろいろなテーマに対応できます。

(6) 地域資料は“箱資料”で（網走市）

リーフレットやチラシや新聞記事など、刊本以外の地域資料については、整理・保存方法に頭を悩ますことが多いと思います。



書庫に配架された“箱資料”

網走市立図書館では、特注の箱（一般的な本の外箱に類似したもの。サイズも数種用意）を使って整理・保存し、職員の方たちは“箱資料”と親しみを込めて呼びながら活用しています。

背には標題と請求記号を付し、書誌データには、内容細目で同封された資料の詳細を記します。

例えば、「網走・オホーツクの歌」という箱には楽譜やCD、パンフレット、新聞記事などが収められています。



「網走・オホーツクの歌」の中味

既に主題とした資料を新たに収集した場合は、その箱に追加して、データも追記していきます。さまざまな形態の地域資料を整理・保存する方法として優れた事例といえます。

閉架書庫に整然と並べられていますが、書誌データもしっかり作られているので、Web-OPACからも検索でき、調べもので活用するにも使いやすくとめられています。

皆さんのまちでも、地域資料の整理・保存方法として参考にしてはいかがでしょうか。

(7) 新図書館建設に向けて（斜里町）

斜里町立図書館（昭和45年11月開館）の建物は、昭和44年4月に建造され、昭和43年11月まで役場庁舎として利用されていたものです。

施設の老朽化もあり、かねてから新館建設が検討されてきましたが、平成24年12月に「新斜里町立図書館建設基本計画」が策定され、また町民による「新図書館建設検討委員会」が発足し、建設に向けての具体的な動きが始まりました。



現在、約97,000冊の蔵書を有する斜里町立図書館ですが、基本計画によると建築面積は1,400㎡程度としており、今年から建設工事が始まる予定です。

道立図書館としても、素敵な図書館が完成するよう引き続き情報提供等協力していきます。

※ 新図書館建設について、斜里町立図書館のホームページに詳しく紹介されています。

http://www.town.shari.hokkaido.jp/O5institution/10kyouiku_bunka/catetemp3_institution/lib-kensetsu.html

(8) 毎月絵本をお届けします！（湧別町）

湧別町の図書館（湧別図書館、中湧別図書館）では、「絵本くらぶ」（絵本の定期宅配貸出サービス）を実施しています。定員を30名として、0歳から3歳までの子どもがいる家庭を対象に、図書館司書が選書した絵本5冊程度を、毎月自宅まで宅配します。

ロングセラーの名作絵本を中心に、ユーモア作品も盛り込み、バランス良く選書します。どんな絵本を選べばよいか悩んだり、図書館でゆっくり本を選べない方などにおすすめの事業として取り組んでいます。

(9) しみずっ子が選ぶこれがおすすめ！（清水町）

清水町図書館では、「まちづくり予算町民提案事業」で採択された「図書の購入費増額事業」を活用して、町内の小・中・高校の図書委員が選ぶ「おすすめの本」を揃えました。



選ばれた図書は、小説、スポーツ、伝記などさまざまなジャンルにわたり、同世代の子どもたちはもちろん、大人にも好評です。

また、それぞれの図書には、子どもたちが書いた“おすすめのポイント”などのコメントが付けられ、図書館内にコーナーを設けて、展示・貸出しています。図書リストも作成し学校に配布しました。

子どもの読書活動を推進する取組が、それぞれのまちで工夫されていますが、最近では、「しみずっ子…」のように“子どもたちが主役”となる事業の実施が有効です。

(10) 図書館忍者認定！（豊頃町）

毎年子どもたちが興味を持つテーマで「図書館フェア」を開催している豊頃町図書館ですが、今年度は“忍者”をテーマに次のメニューで行いました。

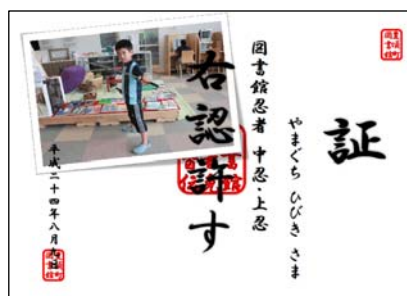
- 特別展示「忍びのすべて 忍者・忍術の歴史を見る・知る・楽しむ」（道立図書館協力）
- 図書館忍者（図書館クイズ）
- カンタンにできる工作
- リサイクル本の無料配布 除籍した本や雑誌
- あおぞら読書 図書館前広場を開放

「特別展示」では、館内に“和室っぽい雰囲気の本を読んでもらえるスペース”を作り、小物も配置しました。



特別展示 忍びのすべて

「図書館忍者」では、図書館内を動き回って問題を解いてもらうよう意識した問題が作られ、図書館を理解し本に触れるきっかけになっています。初級(下忍)編、中級(中忍)編、上級(上忍)編として3日間連続で開催し、全問正解した子どもには証として「免許皆伝」を贈りました。



図書館忍者の「証」

「カンタンにできる工作」では、“ガムの空き箱で作るペンギン”と“フェイクスイーツで作るおいしいストラップ”を図書館の蔵書を使って作りました。

このように趣向を凝らして取り組まれています。特に図書館クイズとして、調べものを子どもたちに体験させる手法は毎年工夫されており、昨年度は“海賊王”がテーマでした。

(11) インターネット予約サービス実施 (弟子屈町)

弟子屈町図書館では、昨年4月の図書館システムの更新にあわせて、インターネット予約サービスを始めました。このサービスは、貸出中の資料への予約だけでなく、在庫の資料への予約にも対応しています。

また、資料の受取りは、図書館のカウンターのほか図書館バスが巡回するステーションを指定する事もできます。

道内の図書館(室)では、インターネット予約サービスを行い、中でも“在庫資料”まで予約の対象としているところは限られます。新たな利用の拡大が期待されます。

道立図書館からのお知らせ

★ Twitter 始めました。

当館の事業等の広報ツールとして、ツイッターを開設しました。蔵書点検初日の3月4日からつばやき始めています。ホームページと合わせてご覧ください。

道内の公立図書館では、比布町図書館がすでに始めています。



新たな利用者層へのPRや、他の図書館・関連機関との情報共有・拡散の一助として、ツイッターを活用していきます。フォローをよろしくお願いいたします。

■お役立ち情報

(1) 「朝読・家読運動」イメージキャラクター「ぶっくん」があなたのまちに行きます

「ぶっくん」は、全道の小・中学生から応募のあった 1,796 点の作品の中から、ニセコ町の小学4年生（当時）の作品が選ばれ、平成 23 年 11 月に発表されたキャラクターです。平成 24 年 11 月の「北海道ブックフェスティバル in しりべし」では、「ぶっくん」の“着ぐるみ”がお披露目されました。

この“着ぐるみ”は、皆さんのまちでも、おはなし会やブックフェスティバルなどのイベントに、派遣依頼することができます。（中に入る演者と誘導者の 2 名分の旅費等が必要です。）

この 2 月に北竜町図書館で初めて行われた図書館フェスティバルでは、おはなし会で読み聞かせに初挑戦した「ぶっくん」。子どもたちの間で大人気でした。ぜひご活用ください。

※「ぶっくん」の問合わせ・申込み

：北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課



(2) 「Webcat」から「CiNii Books」へ

国立情報学研究所（NII）の総合目録データベース「NACSIS-Webcat」は、3月8日でサービスが終了しました。

今後、全国の大学図書館等が所蔵する本（図書・雑誌）の情報については、すでにサービスを開始している「CiNii Books」に移行します。レファレンスサービスのツールとして活用しましょう。

※詳しくはこちら → <http://ci.nii.ac.jp/books/>



(3) 司書・司書補になるには・・・

司書資格を取得するには、次の3つの方法があります。

- ①大学・短大通学中に必要科目を履修する。
- ②通信教育や夜間で必要科目を履修する。
- ③大学等で実施される短期の司書講習を受ける。

このうち、③の「司書講習」について、平成 25 年度の講習日程と実施大学が公表されました。

富士大学（岩手県花巻市）、聖学院大学（埼玉県上尾市）など道外 13 の大学です。詳しくは文部科学省のホームページにまもなく掲載されますのでご確認ください。

※文部科学省「司書について」

http://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/gakugei/shisyo/index.htm

「移動図書館車」 追加情報！

昨年11月に発行しました『あけぼのつうしん No.42』で「平成22年度以降に更新された移動図書館車」を特集しましたが、帯広市図書館と市立士別図書館から情報が寄せられましたので、紹介します。

帯広市図書館 なうまん号



平成24年10月運用開始

- 車名/日野 ●総排気量/7410cc ディーゼル
- 車両総重量/8,840kg ●全長/899cm
- 全幅/234cm ●全高/315cm
- 乗車定員/8人 ●積載冊数/約3,500冊

5代目「なうまん号」になります。

今回の更新では、バスに積む図書を約800冊増やし、最大積載冊数は約3,500冊となりました。たくさんの利用者にご利用いただけるように、またより多くの図書からお選びできるようにするためです。

【巡回サービスの概要】（平成25年3月現在）

- 巡回場所は帯広市内54か所のステーション、老人保養施設3か所、郊外の小中学校9か所、市民文庫3か所あり、毎月1回ずつ1台で巡回しています。
- 平成23年度の貸出冊数は26,737冊(なうまん号での貸出のみ)です。

市立士別図書館 プチヨム号



平成24年12月寄贈

「国際ソロプチミスト士別」(黒河愛子会長)から、設立25周年を記念して、子どもたちの読書普及活動に役立ててほしいと、ダイハツ「タント」を図書館専用車として寄贈していただきました。

図書館BM車「ヨムヨム号」にちなみ、愛称を「プチヨム号」とし、主に市内の図書配送に使用しています。

【巡回サービスの概要】

- 団体貸出図書の配送
- 市内の小中学校図書館共用図書「すすむ文庫」巡回
- ブックスタートや出張読み聞かせ

次年度も、みなさんの図書館（室）の情報を
お寄せください！

あけぼのつうしん No. 44

発行日 平成25年3月13日

編集 北海道立図書館総務企画部企画支援課

発行 北海道立図書館

〒069-0834 江別市文京台東町 41 番地

TEL 011-386-8521

FAX 011-388-2063(総務企画部)

ホームページアドレス <http://www.library.pref.hokkaido.jp/>